



チーム出東

出東小学校 令和8年度学校だより NO.8 8月31日号 文責：秦 康人

夢と希望にあふれる学校

○進んで学ぶ子

○やさしい子

○元気な子

○ふるさとを愛する子



長い夏休みが終わり、校舎内に子どもたちの賑やかな声が帰ってきました。やはり、学校には「元気な子どもの声」が似合います。今年の夏も猛暑の日が続き、熱中症等が心配されましたが、予定通り8月31日から学校をスタートすることができました（本年度から2学期制をとっていますので、「2学期始業式」とは言わず、「学校スタート」としてします）。

今年の夏休みも、様々な場面で元気な子どもたちの姿を見かけました。6年生が出東こども園で保育体験をしたり、出東たなばた会には、多くの子どもたちが友達や家族と楽しそうにお祭りに参加したりしていました。またPTA役員の方が出東たなばた会で出店をされるなど、子どもも大人もいろいろな行事に参加して、良い思い出や人との繋がりができたのではないかと思います。このように、学校・家庭・地域が連携して、出東の子どもを育てていく環境を整えていくのはすばらしいことですね。

今後も、以下の重点項目を中心に、「夢と希望にあふれる学校」をめざして、日々の教育活動に取り組んでいきたいと思っています。ご理解ご協力をお願いいたします。

今後の学校経営重点項目について

「進んで学ぶ子」を育てるために	「やさしい子」を育てるために
○図書館活用を中心に、教員の授業力向上を図ります。 ○11月の学習公開日は、「人権・同和教育」に視点を充てた授業を行います。また、9月から、6年生の同和問題学習を行います。	○相互に認め合える雰囲気の醸成と子ども理解を進めます。学級経営を基盤にした人間関係づくりに努めます。 ○「だんだんタイム」を充実させて自己肯定感の向上を図り、よりよい学級集団作りを行います。
「元気な子」を育てるために	「ふるさとを愛する子」を育てるために
○メディアとの関わりを手がかりにした「生活習慣の改善」推進します。（スマイル週間） ○4つのふるまいのうち、特に「あいさつ」については、いつでも・どこでも・だれにでもできるように、「廊下歩行」については、落ち着いて歩くように指導します。	○学習成果発表会などの機会を活用し、「探究的な学び」の取組を発信します。 ○地域教材の活用と地域人材を招いた学習を積極的に行います。

教職員校内研修から

夏季休業中は、教職員の研修を行う良い機会となります。例年この時期を利用して学力向上や人権・同和教育など、たくさんの研修を行います。今年度行った研修の中から2つの内容を紹介します。

7月28日（火）は、放送大学客員准教授の塩谷京子先生を講師にして、「学校図書館を活用した教育の推進」について講義を受けて演習も行いました。塩谷先生には昨年度に続き、図書資料を使った探究的な学びに関する授業の改善について、様々な視点からヒントをいただきました。ネットに情報があふれる現代だからこそ、図書資料で「正しい情報を選び、深掘りする力」を養うことはとても大切です。本や図鑑を使った調べ学習は、根拠のある知識を得るだけでなく、思考力や読解力を育成するのに必要ですので、この研修を生かして授業改善に取り組んでいきます。

8月26日（水）は、本校のスクールカウンセラーの三島真弓カウンセラーを講師として、「子どもの心の不思議探検」のテーマで研修を行いました。研修の中で、子どもの行動の裏側にある心理や背景を読み取ることの大切さや、担任一人ではなく、多くの教職員の視点で子どもを多面的にとらえて対応していくことを学びました。今後も、子どもの困り感にチームで対応していく体制を構築していきたいと思っています。

その他にも、学級集団作りに関わる研修や同和問題学習に関わる研修、学力向上策に関する研修など、より良い教育活動の実現をめざして研修を行いました。



↓裏面に続く

斐川町相撲大会について

今年度の「斐川町相撲大会」は9月8日（火）開催です。この相撲大会は、岩野薬師のお祭りとの関わりがあるため、曜日に関係なく9月8日が開催となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

今年度は4年生～6年生から9名の参加希望があり、9月2日（水）から練習を行います。まだ暑さが残る時期での練習になりますが、児童の体調管理に気をつけながら、限られた時間を効率的に使って練習をしていきます。また、今年度も出東スポーツ協会相撲部から紹介いただいた江角悟さんにも練習をみてもらうことになりました。より専門的な指導をしていただけることを期待しています。



↑【昨年の練習と大会の様子】

PTA 環境整備作業のお礼

8月23日（日）は、暑い中にもかかわらず早朝から多数の保護者の方に、校庭や校舎周りの草取りや溝掃除をしていただき、大変感謝しております。おかげで、気持ちの良い環境の中で、夏休み明けの学校をスタートすることができました。ありがとうございました。



低学年棟のトイレ新設及び改修工事について

これまで、低学年棟のトイレは男女兼用で設備自体も古くなっており、非常に使いづらい状況でしたので、夏休みの間に、新設・改修工事を行いました。1階の2教室の間にあった部分を男子トイレとして中を改修しました。また、1年2組の横にあったスペースを活用して、女子トイレを新設しました。これまでトイレは本館まで行かなければなりませんでした。近いうちにきれいなトイレができて、便利になりました。

学校評価でも、「トイレの環境整備」は毎年検討課題として挙げられている事項です。全てを一度に改善することはできませんが、これまでも洋式化や温便座設置など、限られた予算の中で整備を続けていますので、今後も、ご理解のほどよろしくお願いします。



お子様や学校のことでお困りのこと、ご心配なことがありましたら、担任まで遠慮なくご相談ください。また、担任以外にも下記の職員を相談窓口としております。

- ・小川恵美（教頭） ・勝部修治（不登校・いじめ対応CN） ・石倉綾美（養護教諭） ・金築裕司（特別支援教育CN）
- ・三島真弓（スクールカウンセラー） ・太田桂子（スクールソーシャルワーカー）